

グローバル・メガピース

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第6期(決算日2024年1月25日)

作成対象期間(2023年1月26日～2024年1月25日)

第6期末(2024年1月25日)

基準価額	10,977円
純資産総額	9,797百万円
第6期	
騰落率	17.2%
分配金(税込み)合計	700円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル・メガピース」は、2024年1月25日に第6期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の株式、債券などに投資を行なう投資信託証券の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<644064>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

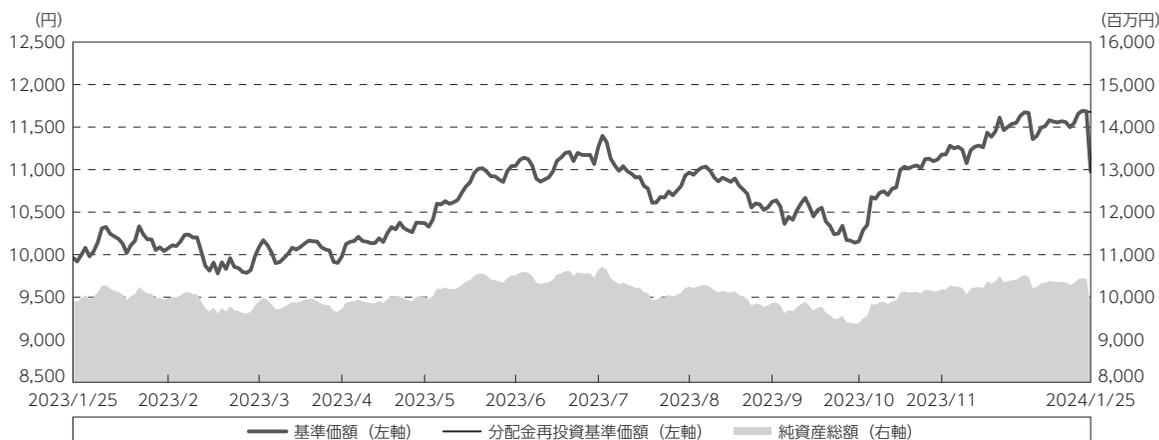
コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年1月26日～2024年1月25日)



期 首：9,964円

期 末：10,977円 (既払分配金(税込み):700円)

騰落率：17.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年1月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、日本を含む世界各国の株式、債券などに投資を行なう投資信託証券の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

ファンドを構成する3つのテーマ別では全テーマがプラスとなり、「イノベーション株式」、「アーリー・ステージ株式」、「インカム債券」の順にプラスに寄与しました。

テーマ内の投資対象ファンド別では、「グローバル・フィンテック株式マザーファンド」、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」、「USグローイング・ベンチャーマザーファンド」などが大きくプラスに寄与し、「ジャパン・グローイング・ベンチャーファンド(適格機関投資家向け)」によるマイナスの影響を打ち消して、ファンドの基準価額は期間の初めと比べて大きく上昇しました。

1万口当たりの費用明細

(2023年1月26日～2024年1月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	180	1.694	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(88)	(0.825)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(88)	(0.825)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.054	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(6)	(0.053)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.017	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(2)	(0.017)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	12	0.116	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.033)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用 等)	(3)	(0.030)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
(そ の 他)	(5)	(0.049)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	200	1.881	
期中の平均基準価額は、10,616円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

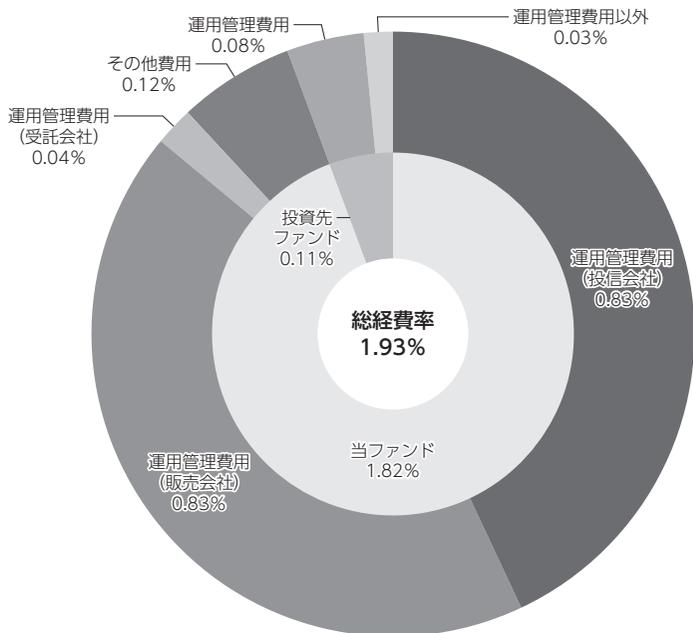
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.93
①当ファンドの費用の比率	1.82
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.08
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2019年1月25日～2024年1月25日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2019年1月25日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年1月25日 決算日	2020年1月27日 決算日	2021年1月25日 決算日	2022年1月25日 決算日	2023年1月25日 決算日	2024年1月25日 決算日
基準価額 (円)	9,071	10,420	11,871	10,475	9,964	10,977
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	1,000	600	0	700
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	14.9	23.5	△ 6.7	△ 4.9	17.2
純資産総額 (百万円)	25,103	17,209	13,549	11,066	9,937	9,797

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2023年1月26日～2024年1月25日)

(株式市況)

期間の初めは、インフレ圧力の緩和が見られる一方で、金融政策に対する警戒感が残るなど、強弱入り混じった環境となり、株価は一進一退の展開が続きました。2023年3月に入ると、米国の地方銀行の経営不安が高まったことなどを背景に、株価は下落しましたが、3月中旬から下旬にかけては、金融当局が預金者保護を表明したことや経営難のスイスの大手金融グループが救済買収されたことから、金融システムに対する過度な懸念が緩和し、株価は上昇しました。その後も、インフレ懸念が後退したことや、好調な企業決算、米国の地方銀行の破綻連鎖への懸念が後退したことから、株価の上昇が続きました。8月からは、大手格付け会社が米国国債の格付けを引き下げたことや、賃上げを要求する全米自動車労働組合（UAW）のストライキの行方が警戒されたこと、米国連邦公開市場委員会（FOMC）の結果を受けて、米国の金融引き締めが長期化するとの見方が広がり、長期金利が上昇したことなどから、株価は下落しました。また、10月には、イスラム組織ハマスとイスラエルとの間の戦闘激化による中東情勢の緊迫化を受けた地政学的リスクの高まりが警戒され、世界経済の先行き懸念が高まったことなども株価下落の要因となりました。11月にはインフレ懸念が後退し、各国の中央銀行の利上げ終了に対する期待が強まり、長期金利が低下したことなどから株価は反発し、年末にかけて力強い上昇が続きました。

(債券市況)

期間の初めは、堅調な経済環境とインフレ指標の高止まりなどから、金融引き締めが長期化するとの見通しが強まり、利回りは上昇（債券価格は下落）しましたが、2023年3月には米国の地方銀行の経営破綻を契機として金融不安が広がったことから、FOMCが追加利上げを一時停止するとの見方が広がり、利回りは総じて低下（債券価格は上昇）しました。4月以降は、一時強まった米国地方銀行の破綻連鎖への懸念が後退し投資家のリスク回避姿勢が和らいだことや、米国連邦準備制度理事会（FRB）が政策金利を引き上げたこと、FRB議長の見聞録などからFRBによる金融引き締めの長期化が見込まれたこと、そして、米国の堅調な経済指標を受けて、利回りの上昇が続きました。また、欧州においても欧州中央銀行（ECB）やイングランド銀行（BOE）が政策金利を引き上げ、更に利上げを継続するとの見通しが強まり、利回りは総じて上昇しました。10月に入ると、ユーロ圏の小売売上高や景気指数が市場予想を下回り、欧州の景気後退観測が高まったことや、中東情勢の緊迫化をきっかけに世界的なリスク回避ムードが強くなりました。このような状況からECBが利上げを見送ったことなどを背景に、10年国債利回りは総じて低下しました。米国でも雇用やインフレ指標の軟化に伴ない、FRBの利上げ局面が終了したとの見方が広がり、年末に向けて利回りは低下しました。

(為替市況)

期間中における主要通貨(対円)は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



円／インドルピーの推移



円／ユーロの推移



円／南アフリカランドの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2023年1月26日～2024年1月25日)

(当ファンド)

主として、日本を含む世界各国の株式、債券などに投資を行なう投資信託証券の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないました。

当期間の資産配分については、「イノベーション株式」、「アーリー・ステージ株式」、「インカム債券」を概ね3分の1ずつとする基本の投資比率を維持しました。

この結果、作成期間末時点における資産配分比率は以下の通りとなりました。

資産	投資対象ファンド	組入比率	組入比率
イノベーション 株式	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	18.1%	35.1%
	グローバル・フィンテック株式マザーファンド	17.0%	
アーリー・ ステージ株式	ジャパン・グローイング・ベンチャーファンド (適格機関投資家向け)	7.9%	33.1%
	USグローイング・ベンチャーマザーファンド	8.9%	
	先進国資本エマージング株式マザーファンド	16.4%	
インカム債券	PIMCO バミューダ・インカム・ファンドA クラスQ (JPY)	31.1%	31.1%

※組入比率は当ファンドの純資産総額比です。

(各投資対象ファンド)

各投資対象ファンドにおいては、それぞれの運用方針に沿って、信託財産の成長をめざして運用を行ないました。

資産	投資対象ファンド	運用方針
イノベーション 株式	グローバル・ロボティクス株式 マザーファンド	主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式(預託証券を含みます。)に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
	グローバル・フィンテック株式 マザーファンド	主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているフィンテック関連企業の株式(預託証券を含みます。)に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
アーリー・ ステージ株式	ジャパン・グローイング・ ベンチャーファンド (適格機関投資家向け)	主として、わが国の金融商品取引所上場株式の中から公開後5年以内の革新的な高成長新興企業の株式に実質的な投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
	USグローイング・ベンチャー マザーファンド	主として、米国の金融商品取引所上場株式の中から公開後5年以内の革新的な高成長新興企業の株式に分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
	先進国資本エマージング株式 マザーファンド	主として、世界の金融商品取引所に上場されており、先進国企業が資本参加している新興国企業の株式(預託証券を含みます。)に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
インカム債券	PIMCO バミューダ・インカム・ファンドA クラスQ (JPY)	世界各国(新興国を含みます。)の債券などに実質的に投資を行ない、インカムゲインの最大化と長期的な値上がり益の獲得をめざします。原則として、純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り・円買いの為替ヘッジを行ないます。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2023年1月26日～2024年1月25日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2023年1月26日～2024年1月25日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充たなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第6期
	2023年1月26日～ 2024年1月25日
当期分配金	700
(対基準価額比率)	5.995%
当期の収益	451
当期の収益以外	248
翌期繰越分配対象額	1,420

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**(当ファンド)**

引き続き、主として、日本を含む世界各国の株式、債券などに投資を行なう投資信託証券の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。資産配分については、「イノベーション株式」、「アーリー・ステージ株式」、「インカム債券」を概ね3分の1ずつとする基本の投資比率を維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

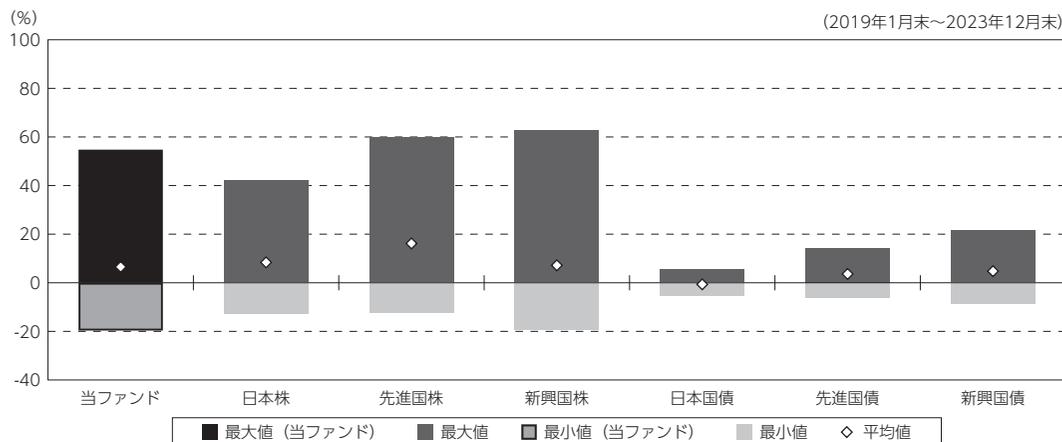
2023年1月26日から2024年1月25日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2018年2月1日から2028年1月25日までです。
運用方針	主として、日本を含む世界各国の株式、債券などに投資を行なう投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、日本を含む世界各国の株式、債券などに実質的に投資を行なう投資信託証券の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。投資信託証券の合計組入率は、高位を保つことを原則とします。なお、投資信託証券については、収益機会の追求やリスクの分散などを目的として、適宜見直しを行ないます。この際、定性評価や定量評価などを勘案のうえ、新たに投資信託証券を指定したり、既に指定されていた投資信託証券を外したりする場合があります。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	54.8	42.1	59.8	62.7	5.4	14.3	21.5
最小値	△ 19.7	△ 12.8	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	6.5	8.4	16.2	7.2	△ 0.7	3.6	4.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2019年1月から2023年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2019年2月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象とした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2024年1月25日現在)

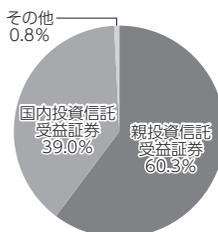
○組入上位ファンド

銘柄名	第6期末
	%
PIMCO バミューダ・インカム・ファンドA クラスQ (JPY)	31.1
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	18.1
グローバル・フィンテック株式マザーファンド	17.0
その他	33.1
組入銘柄数	6銘柄

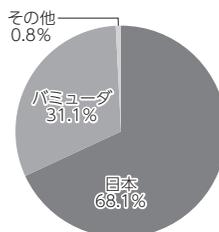
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

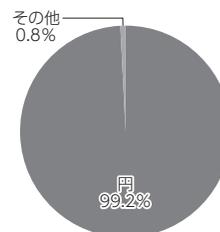
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第6期末
	2024年1月25日
純資産総額	9,797,279,907円
受益権総口数	8,925,121,616口
1万口当たり基準価額	10,977円

(注) 期中における追加設定元本額は181,015,649円、同解約元本額は1,229,107,320円です。

組入上位ファンドの概要

PIMCO バミューダ・インカム・ファンド A クラスQ (JPY)

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2022年11月1日～2023年10月31日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

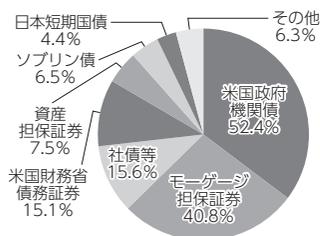
(2023年10月31日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	比率
				%
1	Ginnie Mae, TBA 4.000% due 12/01/2053	米国政府機関債	アメリカドル	8.1
2	Fannie Mae, TBA 3.500% due 12/01/2053	米国政府機関債	アメリカドル	5.3
3	Ginnie Mae, TBA 4.000% due 11/01/2053	米国政府機関債	アメリカドル	4.4
4	Ginnie Mae, TBA 4.500% due 12/01/2053	米国政府機関債	アメリカドル	4.4
5	Ginnie Mae, TBA 3.000% due 12/01/2053	米国政府機関債	アメリカドル	4.0
6	Fannie Mae, TBA 5.500% due 12/01/2053	米国政府機関債	アメリカドル	2.6
7	Ginnie Mae 4.500% due 09/20/2053	米国政府機関債	アメリカドル	2.6
8	Ginnie Mae, TBA 5.000% due 11/01/2041	米国政府機関債	アメリカドル	2.5
9	Ginnie Mae, TBA 5.500% due 12/01/2053	米国政府機関債	アメリカドル	2.3
10	日本短期国債 (0.234%) due 01/15/2024	日本短期国債	日本円	2.3
組入銘柄数			1,251銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

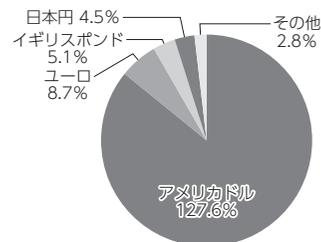
【資産別配分】



【国別配分】

必要な情報が開示されておりません。

【通貨別配分】

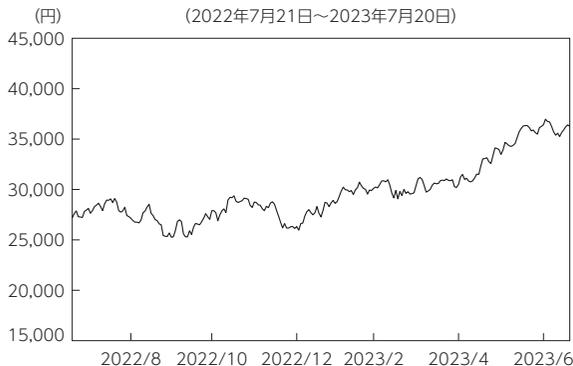


(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

※組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、実質的な運用を行なっているPIMCOバミューダ・インカム・ファンド (M) の情報です。

グローバル・ロボティクス株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年7月21日～2023年7月20日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	2 (2)	0.008 (0.008)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	3 (3) (0)	0.012 (0.012) (0.000)
合計	5	0.021

期中の平均基準価額は、29,455円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

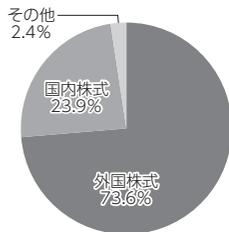
【組入上位10銘柄】

(2023年7月20日現在)

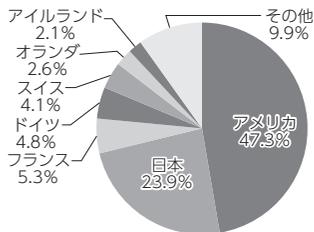
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 ABB LTD-REG	資本財	スイスフラン	スイス	4.1%
2 NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	アメリカドル	アメリカ	3.9%
3 キーエンス	電気機器	円	日本	3.9%
4 ROCKWELL AUTOMATION INC	資本財	アメリカドル	アメリカ	3.7%
5 INTUITIVE SURGICAL INC	ヘルスケア機器・サービス	アメリカドル	アメリカ	3.7%
6 SCHNEIDER ELECTRIC SE	資本財	ユーロ	フランス	3.2%
7 INFINEON TECHNOLOGIES AG	半導体・半導体製造装置	ユーロ	ドイツ	2.8%
8 デイスコ	機械	円	日本	2.7%
9 THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	医薬品・バイオテクノロジー/サイエンス	アメリカドル	アメリカ	2.4%
10 ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	アメリカドル	アメリカ	2.3%
組入銘柄数	52銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

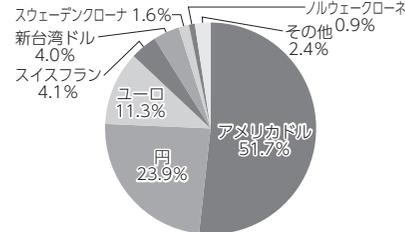
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

グローバル・フィンテック株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年12月8日～2023年12月7日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	7 (7)	0.036 (0.036)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	4 (4) (0)	0.022 (0.020) (0.002)
合計	11	0.059

期中の平均基準価額は、19,200円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

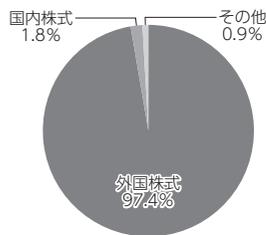
【組入上位10銘柄】

(2023年12月7日現在)

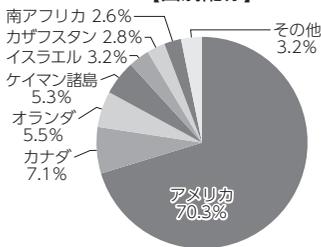
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 COINBASE GLOBAL INC -CLASS A	金融サービス	アメリカドル	アメリカ	8.8
2 BLOCK INC	金融サービス	アメリカドル	アメリカ	8.7
3 UTPATH INC - CLASS A	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	7.3
4 SHOPIFY INC - CLASS A	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	カナダ	7.1
5 ROBINHOOD MARKETS INC - A	金融サービス	アメリカドル	アメリカ	6.6
6 TWILIO INC - A	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	5.7
7 ADYEN NV	金融サービス	ユーロ	オランダ	5.5
8 MERCADOLIBRE INC	一般消費財・サービス流通・小売り	アメリカドル	アメリカ	4.8
9 DRAFTKINGS INC-CL A	消費者サービス	アメリカドル	アメリカ	4.5
10 STONECO LTD-A	金融サービス	アメリカドル	ケイマン諸島	3.3
組入銘柄数	41銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

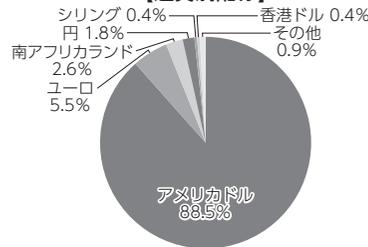
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

グローバル・メガピース

【貸借対照表】

(単位:円)

	第5期 2023年1月25日現在	第6期 2024年1月25日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	165,015,875	731,208,773
投資信託受益証券	4,009,351,535	3,816,812,603
親投資信託受益証券	5,864,896,323	5,905,886,173
未収入金	—	81,506,757
流動資産合計	10,039,263,733	10,535,414,306
資産合計	10,039,263,733	10,535,414,306
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	—	624,758,513
未払解約金	12,598,825	23,942,792
未払受託者報酬	2,223,924	2,238,605
未払委託者報酬	83,399,429	83,949,998
未払利息	47	201
その他未払費用	3,479,803	3,244,290
流動負債合計	101,702,028	738,134,399
負債合計	101,702,028	738,134,399
純資産の部		
元本等		
元本	9,973,213,287	8,925,121,616
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	△35,651,582	872,158,291
(分配準備積立金)	1,282,508,998	904,114,500
元本等合計	9,937,561,705	9,797,279,907
純資産合計	9,937,561,705	9,797,279,907
負債純資産合計	10,039,263,733	10,535,414,306

【損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	第5期		第6期	
	自 至	2022年1月26日 2023年1月25日	自 至	2023年1月26日 2024年1月25日
営業収益				
受取利息		140		147
有価証券売買等損益		△379,599,892		1,785,602,942
営業収益合計		△379,599,752		1,785,603,089
営業費用				
支払利息		39,821		37,482
受託者報酬		4,561,840		4,433,827
委託者報酬		171,073,523		166,273,236
その他費用		3,713,540		3,463,800
営業費用合計		179,388,724		174,208,345
営業利益又は営業損失(△)		△558,988,476		1,611,394,744
経常利益又は経常損失(△)		△558,988,476		1,611,394,744
当期純利益又は当期純損失(△)		△558,988,476		1,611,394,744
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額(△)		△64,888,294		93,486,997
期首剰余金又は期首欠損金(△)		501,863,413		△35,651,582
剰余金増加額又は欠損金減少額		11,346,911		14,660,639
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		—		3,841,683
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		11,346,911		10,818,956
剰余金減少額又は欠損金増加額		54,761,724		—
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		54,761,724		—
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		—		—
分配金		—		624,758,513
期末剰余金又は期末欠損金(△)		△35,651,582		872,158,291